

かわら版 いわしるろ

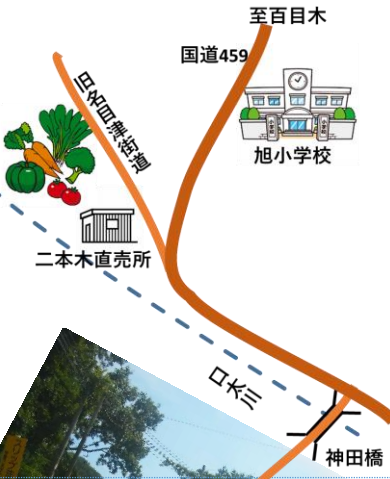
マスコットの



ひょうたん
です

地域情報 新鮮野菜を販売 「二本木直売所」

二本木直売所は、国道四五九号の田沢二本木地内、旧名目津街道入口にあります。平成29年10月に、地元の名馬正子さんと遠藤キヨ子さんが開設し、新鮮な季節の野菜を安価で提供しています。店内では婦人服も販売しており、ブティックを併設する直売所として、気軽に立ち寄れる地域の憩いの場となっています。なお、冬の12月から3月は休となるそうです。



【写真】右からお客さんの勝子さん、店主のキヨ子さん、正子さんです。

夏の交通事故防止運動 「テント村作戦」を実施

ドライバーに安全運転を呼び掛ける、毎年恒例の「テント村作戦」は、交通安全協会の各分会と交通安全母の会が協力し、新殿地区が8月4日、小浜地区が15日、旭地区が16日に実施されました。今回は、「きちんとしめよう！全ての座席のシートベルト」、「守ろう！自転車安全利用」、「日が暮れたら早めのライト」などの交通安全の標語が書かれた啓発用品をドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。



小浜藤町地内での様子

第23回岩代山野草展示会のご案内

岩代山野草会が主催する、秋の展示会は、9月21日(土)〜22日(日)に旭ふれあいセンターで開催されます。キョウウロウホトトギスやイトススキなど珍しい山野草が展示されます。



残りチケットわずか！！
全席指定 2,000円
岩代公民館 55-2260

作曲家
弦哲也 特別公演
9月15日(日)岩代総合文化ホール
15時開演

「天城越え」「北の旅人」「ふたり酒」など、日本歌謡史に残る名曲の数々を作曲された弦哲也さんの歌の世界をお楽しみいただける歌謡ショーです。

集落カルテから みえてきたもの②

「みんなで防ぐ！鳥獣被害対策」前17号からの続き

▼ポイントその3

囲って守る！

畑を守るのに欠かせないのが柵です。柵には、ネット柵、電気柵、金属フェンスなどいくつかの種類があります。それぞれの特徴を把握し、獣種や現場にあわせたものを設置しましょう。

ネット柵

●設置が容易。

●防除効果がやや劣る。

・強度が弱いため、設置後の管理が必要となる。

・ステンレス線が編みこまれていない網は、噛み切られることがある。

電気柵

●設置が容易。

●高い防除効果がある。

・漏電防止のための雑草管理、電圧チェックなどの設置後の管理が必要となる。

・獣種ごとに、電線の高さや間隔を考慮する必要がある。

※漏電防止のために雑草管理を忘れずに行いましょう。

▼ポイントその4

捕獲する！

被害が減らない場合には、捕獲を行います。効果的な捕獲とは、被害を引き起こしている個体を狙うことです。ただし、捕獲には免許が必要で、免許を取得し、積極的に捕獲に取り組みましょう。



より
山の10頭 < 里の1頭を
山奥の鳥獣の捕獲数を上げるより、田畑の食べ物に依存する鳥獣を狙うほうが、被害は減少します。

▼ポイントその5

集落ぐるみの体制づくり！

野生鳥獣が人里に出没するのは、餌を食べることができるところからです。個々の農家が行う点的対策では、野生鳥獣にとってその集落の餌場価値は大きく下がります。餌場価値を大きく下げないためには、集落など一定の広がりを持つて面的に取り組むことが大切です。

イノシシの 生体と対策

イノシシは県内で農作物被害が最も多い獣種です。被害対策の第一歩は、まずイノシシのことを正確に知り、ほ場周辺の痕跡を見逃さないことです。

生態

▼食性

雑食性で人間が食べるようなものはすべて食べます。農作物のほか、昆虫やミミズ、ネズミなどの小動物もエサとしています。草や木も食べます。

▼行動

本来は昼に行動する動物ですが、人の影響が少ない夜間に活発に行動します。落葉広葉樹林や茂み、耕作放棄地や竹林など食料になるものが豊

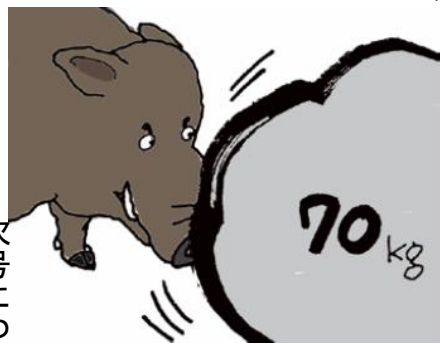
富にあり、身を潜められる場所を好みます。

記憶力がよく、侵入に成功した仲間の行動を真似するなど、高い学習能力を持ちます。その一方で警戒心が強く、臆病。通りなれたけもの道を往復して移動します。

幼獣は15cmの格子、成獣は20cmの隙間をくぐり抜け、垂直に1・2mの高さを飛び越えるジャンプ力があります。足や手を越えることは致命傷のため、上を越えるより下を通り抜けようとします。鼻で押し上げる力によって70kgの石を簡単に動かすことができます。

▼繁殖

交尾期は年に1回で12〜2月頃、出産期は4〜6月頃。満2歳で初産を迎え、平均4〜5頭を産みます。寿命はオスが6歳、メスが10歳程度です。



次号につづく